

第68巻 第2号 執筆者紹介

- 齋藤 哲志 1979年生, 東京大学社会科学研究所准教授
主著 『フランス法における返還請求の諸法理—原状回復と不当利得—』(有斐閣, 2016年)
- 宮本 誠子 金沢大学大学院法務研究科准教授
主著 「フランス法における遺産の管理(一)(二・完)」阪大法学56巻4号(2006年)1007頁, 56巻5号(2007年)1219頁, 「フランス法における可分債務の相続と清算」金沢法学55巻2号(2013年)209頁, 「フランス法における『相続財産の負担』」阪大法学66巻3・4号(2016年)747頁
- 佐々木 弾 1966(昭和41)年生, 1989(平成元)年東京大学経済学部経済学科卒, 1996年米Princeton大学大学院経済学研究科PhD博士号取得, 2002(平成14)年より東京大学社会科学研究所, 2009(平成21)年より同教授, 2010(平成22)年より同研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授を兼任, 専門は法と制度の経済学。
- 横溝 大 1970生, 名古屋大学大学院法学研究科教授
主著 『グローバル化と公法・私法関係の再編』(弘文堂・2015年)(浅野有紀=原田大樹=藤谷武史教授との共編著), 『国際私法(Legal Quest)』(有斐閣・2014年)(中西康=北澤安紀=林貴美教授との共著)
- 藤谷 武史 1976年生 東京大学社会科学研究所准教授
主著 『非営利公益団体課税の機能的分析—政策税制の租税法学的考察(一)~(四・完)』(国家学会雑誌117巻11・12号, 2004年, 118巻1・2号, 3・4号, 5・6号, 2005年), 『市場介入手段としての租税の制度的特質』・『所得税の理論的基礎の再検討』(いずれも金子宏編『租税法の基本問題』, 甲斐閣, 2007年所収), 『国の<<資産>>の法と経済学』フィナンシャル・レビュー(財務省財務総合政策研究所, 通巻第113号, 2013年, 111-131頁), 『グローバル化と公法・私法関係の再編』(共編著, 弘文堂, 2015年)
- 金子 敬明 名古屋大学大学院法学研究科教授
主要論文 「相続財産の重層性をめぐって」法学協会雑誌118巻11号(2001年)-121巻6号(2004年)
「"irreducible core of trusteeship"の概念について」新井誠ほか編『信託法制の展望』(2011年, 日本評論社)
「養子制度」大村敦志ほか編『比較家族法研究』(2012年, 商事法務)
「身分占有と訴訟要件」千葉大学法学論集27巻4号(2013年)
「相続財産論」吉田克己=片山直也編『財の多様化と民法学』(2014年, 商事法務)